

他者とかかわりながら，自己実現に向けて努力する生徒の育成
～違った視点から物事を見たり考えたりして，自分の考えを深める～

糸魚川市立糸魚川中学校

1 学校の概要

糸魚川中学校は，新潟県の西の玄関口に位置する糸魚川市にある。

糸魚川市には，糸魚川―静岡構造線という大断層が通り，地形的にも東西の境目であると共に，動植物の分布，文化など，様々なものの境目に位置するまちである。当校の周りには，フォッサマグナミュージアム，歴史民俗資料館，長者ヶ原，考古館，市民図書館などが隣接している。

教育目標「理想をもち，ともに自己実現を目指す生徒」の下，全校 539 名が，恵まれた環境の中で学習している。



2 NIE 実践のねらい

研究主題と主題設定の理由

本校では，これまで「自分の考えをもち，他者と協力・協調しながら自己実現に向けて努力し続ける生徒の育成」を主題として研究に取り組んできた。その結果，生徒一人ひとりの自己肯定感の高まりは見られるようになった。しかし，固定化した人間関係の中で過ごす傾向が残り，人間関係に悩む生徒がみられる。また，授業中に教師の指示や仲間の意見を集中して聴くことができない生徒も存在する。あいさつは人間関係作りの第一歩と言われている。呼び掛けた声に言葉が返って，人間関係へのきっかけが生まれる。そこから会話が始まり，意思や主張が交わされ，ネットワークが広がり，深まっていくと考える。

今年度は，これまでの成果を生かし，他者とかかわりながら，自分のもつ能力や可能性を最大限に発揮しながら，自己実現に向けて努力する生徒を育てていきたい。



新聞は，生徒が興味をもつ様々なテーマを言葉や写真で紹介している。新聞記事を自分のペースで読むことから，出来事について自分の考えをもつことができる。新聞は，社会を学ぶ窓口とも言われているため，

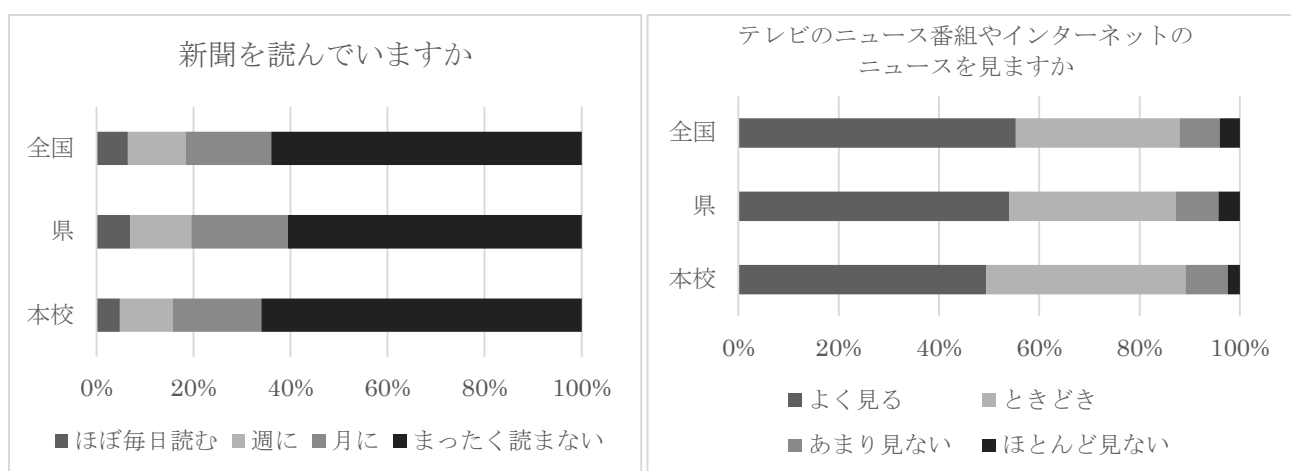
違った視点から物事を見たり考えたりして、自分の考えを深めるためには、とても良い教材である。このように新聞を活用して、学び合い高め合う授業づくりを行う。

3 実践の概要

(1) NIE 環境

最初に、本校の生徒の実態である。

全国学力学習状況調査の「新聞を読んでいますか」と「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか」の項目の結果は次の通りである。



上のグラフのように、新聞に親しんでいる生徒はわずかではあるが、インターネットやテレビでニュースを見ている生徒は約 80%いることが分かった。

新聞の特徴は、情報の大半は確実性をもっているということである。もちろん、誤報が全くないわけではないが、記者の綿密な取材によって集められ、それらの情報の事実を検証し、妥当性を確認した上で厳選されているのである。

今年度から2年間、NIE実践校に指定されたため、9月から2月まで毎月新聞が4部ずつ購読できる。今年度は、まず新聞に親しむことから始めることにした。生徒玄関ホールに、3日間の新聞を閲覧できるコーナーを設置した。

このコーナーの運営は、生徒会の報道委員会が担当した。また、写真新聞を掲示し、その横に一言コメントを付けるなどの活動も行っている。生徒だけでなく、職員も新聞に触れる機会が増え、新聞閲覧コーナーで、職員と生徒が話している姿も多くなってきている。



(2) 校内・校外の研修

月	研修内容：(NIE・学習指導に関すること) [担当部署]
4	授業づくり① (NIE 実施計画と学習規律について) [NIE, 学習指導部]
5	授業づくり② (NIE の取組方説明) [NIE 部]
6	NIE 授業実践開始 [教科部, 学習指導部, NIE 部]
7	NIE コーナーの設置 [生徒会報道委員会]
8	授業づくり③ (新聞の構成についての講演) [学習指導部, NIE 部] NIE 全国大会大分大会参加
9	授業づくり④ (道徳) [道徳教育部] NIE 研究会参加 (長岡市立栖吉中学校)
10	いじめ見逃しゼロスクール集会における新聞活用 [生徒会] NIE 研究会参加 (上越市立稲田小学校)
11	授業づくり⑤ (1月学校訪問における授業検討) [学年部, 教科部]
12	授業づくり⑥ (1月学校訪問における授業検討) [学年部, 教科部]
1	学校訪問における公開授業 (学級活動)
2	今年度の反省と来年度の計画 [教科部, 学習指導部, NIE 部]

8月の講演では、新潟日報上越支社報道部長、山田孝夫様から、新聞の構成や見出しの作り方などについて講演をいただいた。

また、全国大会大分に参加させてもらった。そこでは、次のようなことを学ぶことができた。

実践を行うにあたって大切なことは、組織としての活動が大事であること、学校連携や教育行政との連携も大切であることが強調されていた。

学力を上げるにしろ、社会性を育てるにしろ、NIEは良い材料になっているという報告があった。今は、知りたいことをすぐにインターネットやSNSで知ることができるが、インターネットは知りたいものだけを調べて終わりになりがちである。新聞とは異なり、インターネットの世界は、調べたいもの以外の「思いがけないもの」との出会いが少ないと言える。

最後に強調されていたのは、「NIEは正解がない。継続すること。」であった。新聞を読んで感想を述べたり討論したりするときには正解がないということである。自分の思ったことを堂々と述べる素晴らしい機会ということが分かり、少しでも良いので継続することの大切さを実感した。



4 実践例

(1) 題材名 中学2年

中学校で学ぶこと((3)学業と進路 ア 学ぶことと働くこととの理解)

(2) 題材の目標

- 様々な新聞記事や資料を読み取り，生活班で話し合いながら，将来のために中学校で身に付けたり，学んだりすべきことを考える。
- 考えたことを踏まえ，自分の将来に向けて，学習に対する姿勢を見直すきっかけにする。

(3) 題材について

現在大学入試改革が進んでおり，この学年の生徒が高校3年生になる時から新しい入試制度になる予定である。それに伴い，大学入試で求められている学力も「知識」だけでなく，「思考力・判断力・表現力」が重視されることになる。また，企業において求められる人材の価値観も時代によって変化してきている。以前は行動力や専門知識が重視されてきたが，近年でコミュニケーション能力などのチームワーク力に重きが置かれるようになってきている。

そのような社会の中で生活していく生徒たちに，現代社会の状況を理解し，生活していくためにどのような力を中学校生活で身に付けていかなければならないかを考えるきっかけになるように，この単元を設定した。

(4) 題材の指導と評価の計画（本時1／2）

次	時間	主な学習活動	評価規準及び評価方法
1	1 本時	<ul style="list-style-type: none">○大学や企業がどのような人材を求めているのか記事や資料から読み取ったり，話し合ったりしながら考える。○これまでの中学校生活を見直し，改善していくべきところをまとめる。	<ul style="list-style-type: none">・資料から現代社会において必要な力や改善すべきことをまとめることができたか。 (発言，ワークシート)
	2	<ul style="list-style-type: none">○前時で考えたことを生かして，これからの中学校生活でがんばっていきたいことを考える。○考えたことを発表し合い，クラス全体で交流する。	<ul style="list-style-type: none">・前時に考えたことを生かして，これからの中学校生活での目標を考えることができたか。 (ワークシート，発言)

(5) 本時のねらい

- 様々な新聞記事や資料を読み取ったり，生活班で話し合ったりしながら，将来のために中学校で身に付けたり，学んだりすべきことを考える。

(6) 展 開

時間	○ 学習活動 ・ 予想される生徒の反応	○ 教師の指導・支援 ◎ 評価
10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校生活の中で学ぶべきこととはどのようなことなのか考える。 ・ 考え，ワークシートに記入する。 ・ 知識，体力，人と関わる力 ・ 発表を聞き，ワークシートに書き加える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のテーマを発表し，ワークシートを配布する。 ○ 机間巡視を行い，状況に応じて助言する。 ○ 数名の生徒に発表させる。
30	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>中学校生活で身に付けなければならないことは何か</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞記事や資料を読み，身に付けなければならないことを考える。 ・ 資料を見ながら，考えたことをワークシートに記入する。 ・ 思考力，判断力，表現力，行動力，実行力，コミュニケーション力が必要だと思う。 ○ 個人で考えたことを生活班やクラス全体で交流し，考えを深める。 ・ 生活班で意見を発表し合い，考えをまとめ，ホワイトボードに記入する。 ・ 各班でまとまった考えをホワイトボードを使い，発表する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活班やクラス全体での意見交流を参考にし，身に付けるべき力の順位付けを行う。 ・ これまでの授業内容を参考にし，力の順位付けをワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を配布し，中学校生活で身に付けなければならないことをワークシートに記入するよう指示する。 ○ 机間巡視を行い，状況に応じて質問に答えたり，助言したりする。 ◎ 資料を読み，身に付けるべきことを記入する。（ワークシート） ○ ホワイトボードを配付し，次の指示を行う。 「個人で考えたことを発表し合い，生活班ごとに意見をまとめよう。」 ○ 各班の様子を見ながら，状況に応じて助言する。 ○ 各班の代表に意見を発表させる。この時にホワイトボードを活用するよう指示する。 ◎ 自分の意見を仲間に分かりやすく発表したり，他の意見から，自分の考えを深めながら聞いたりしている。（授業の様子，発表内容，ワークシート） ○ 順位付けには「ピラミッド・チャート」を利用し，生徒がイメージを膨らませながら順位付けできるようにする。 ○ 数名の生徒に意見を発表させる。 ◎ 身に付けるべき力について，自分の価値観に基づき，順位付けをする（発表内容，ワークシート）
10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学業と仕事（芸能活動）を両立している人物の記事を読み，今日の授業で考えたことをワークシートに記入したり，発表したりする。 ・ 中学校生活を通して，身に付けるべきことをしっかりと身に付けたい。 ・ 時間の使い方を工夫して，学習と部活が両立できるようがんばりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を配布し，音読する。 ○ 音読の後，今日の授業で考えたことをワークシートに記入させる。 ○ 数名の生徒に発表させる。 ◎ 今日の授業で考えたことをワークシートに記入する。（発表内容，ワークシート）

1年目の公開授業は、上越教育事務所の糸魚川中学校区学校訪問の共通参観授業と重ねて行った。そのため、参加者は、中学校区の保育園、小学校の先生方と自校職員の約40名であった。

生徒に提示した新聞記事が複数あったため、新聞の情報を読み取る時間が予想以上にかかってしまった。

しかし、自分なりに読み取ったことから考え、そして発表し合っていた。

中学2年生にとって大学進学や就職は少し先の話ではあるが、インターネットでは決して調べることのない内容に触れたため、授業後の感想には次のようなことが書かれていた。



新潟日報 2017年1月30日

熱意と情熱はどこの企業からも求められていることが分かった。大学のテストでは「思考」「判断」「表現」が大切で、この3つは中学校にもあるので大切にしたい。(A子)

昔は、企業の採用では、論理的思考などが上位になっていたが、私たちの時には、熱意、意欲、行動力などに変化しているということが分かった。(B男)

このように、生徒が感じたことを発表し合うことで、自分が気付かなかった視点や同じ考えをもった人がいること、そして何より自分の考えを素直に発表できることができてきたように感じる。

5 成果

まず新聞に親しむことを第1と考え実践してきた。生徒は、新聞記事が分かりやすい作りになっていることや、あまり関心のない記事にも目を向けることができてきた。

来年度当校は2年目に入るが、無理せずに今以上に普段の生活の中へ自然にNIEを取り込んでいきたいと考えている。NIEタイムのように、朝学習の時間を週2回つくり、新聞記事をスクラップさせることから始めることも大切だと感じた。

授業での活用も、新聞の内容も大切だが、グラフの活用や表などを活用するなどして、全教科で実践をしていきたいと考えている。

「楽しくなければNIEじゃない」というスローガンを、当校でも取り入れて、実践を積み重ねていきたい。